

令和 3 年 5 月 1 0 日

# 事業実報告書

## 報告期間

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

一般社団法人三木市生涯活躍のまち推進機構

兵庫県三木市上の丸町 10 番 30 号

## 令和2年度(2020年度)事業実施報告

一般社団法人 三木市生涯活躍のまち推進機構(以下「推進機構」という。)は、緑が丘事業部を中心に、三木市が策定した「三木市生涯活躍のまち構想」に基づき次のような取組を実施しました。

年初から新型コロナウイルス感染症が急拡大し感染防止のため、国において4月に「緊急事態宣言」が発令されました。これに伴い推進機構では各種サークル活動・会議・イベントなどの事業について中止・延期をして防疫を徹底しました。この宣言解除後においても感染は終息を見せず、緊急事態宣言が再発令され、通年にわたり推進機構の事業に大きな影響を及ぼしました。

### I 法人活動

#### 1 社員の異動

- (1) 加入 右田 誠 (大和ハウス工業株)  
安福 昇治 (三木市 市民生活部長)
- (2) 脱会 濱元 真一 (大和ハウス工業株)  
堀内 基代 (三木市 市民生活部長)
- (3) 役員の異動<推進機構新役員> (任期: 令和2年5月30日~2年間)
  - 理事長 岩崎 正勝 (三木市市民生活部)
  - 副理事長 河崎 俊文 (生活協同組合コープこうべ)
  - 理事 井上 輝美 (三木市区長協議会連合会)
  - 理事 角野 幸博 (関西学院大学)
  - 理事(新) 右田 誠 (大和ハウス工業株式会社)
  - 理事 岩崎 国彦 (三木市健康福祉部長)
  - 理事(新) 安福 昇治 (三木市市民生活部長)
  - 監事 黒井 一寿 (三木市社会福祉協議会)

#### 2 社員総会

##### (1) 定時社員総会

と き 令和2年5月30日

ところ 緑が丘事業部

- 議 題 ①令和1年度事業報告  
②令和1年度決算・監査報告  
③理事・監事の選任

### 3 理事会

#### (1) 第1回理事会

と き 令和2年5月30日

ところ 緑が丘事業部

- 議 題 ①令和元年度事業報告  
②令和元年度決算・監査報告  
③社員の加入  
④理事及び幹事の選任  
⑤令和2年度定時社員総会の開催

#### (2) 第2回理事会

と き 令和2年5月30日

ところ 緑が丘事業部

- 議 題 ①理事長・副理事長の選任

#### (3) 第3回理事会

と き 令和3年3月23日

ところ 緑が丘事業部

- 予定議題 ①令和3年度事業計画及び収支予算案

### 4 監査

と き 令和2年5月25日

ところ 三木市市民活動センター

- 内 容 令和元年度決算監査  
①令和元年度事業  
②令和元年度決算  
③令和元年職務執行状況

監 査 監事 黒井一寿

### 5 緑が丘事業部の会議

緑が丘事業部運営協議会

第1回 令和2年7月15日

第2回 令和2年9月16日

### 第3回 令和3年4月14日（最終）

※第3回については、緊急事態宣言の発令に伴い開会を延期していたものを令和3年4月に開催。また、重要な連絡事項がないときは感染防止のため休止しました。

## 6 広報事業

令和1年度は、隔月で「きこうだより」を発行。緑が丘、青山地区の全世帯5,500部に自治会の協力を得て配布してきました。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で事業を大幅に縮小・休止したため9月号及び5年間の成果をまとめた令和3年3月号の発行となりました。

また、機構ホームページ・フェイスブックも事業縮小にあわせ更新が減った影響でアクセス数も減少しました。

生涯活躍のまち推進機構ホームページアクセス数													(件)
H30年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
アクセス数	451	987	1,539	3,106	1,582	1,852	1,790	1,341	1,323	1,633	2,378	1,419	19,401
R1年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
アクセス数	1,000	867	1,832	1,696	1,401	1,343	1,507	972	977	937	870	678	14,080
R2年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
アクセス数	722	598	777	700	731	866	663	600	1,105	773	855	405	8,795

生涯活躍のまち推進機構Facebookアクセス数													
H30年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
投稿回数	7	3	12	11	13	7	5	4	4	5	12	2	85
アクセス数	110	88	482	1,109	1,295	308	137	170	278	488	589	228	5,282
R1年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
投稿回数	4	0	5	6	1	1	2	1	0	4	5	3	32
アクセス数	501	0	211	483	86	82	116	82	0	273	171	101	2,106
R2年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
投稿回数	6	5	4	2	1	2	0	1	0	5	3	10	39
アクセス数	437	194	387	222	46	80	0	42	17	470	8	68	1,971

## II 主要事業の実施状況

令和2年度は、国の地域再生計画（H28年度～R2年度の5か年）の最終年度であり事業を集大成すべき年でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により多数の事業を中止しました。推進機構では、ポスト・コロナ社会に向けて非接触型の新たな事業手法の検証を行いました。

### 1 職員の異動

#### (1) 職員の退職

推進機構が雇用していた期限付き嘱託職員及びクラウドディレクターについて、雇用契約の期間満了（令和2年12月末）をもって雇用契約を終了した。なお、クラウドディレクターについては委託契約によりディレクター業務を継続している。

### 2 健康管理事業

#### (1) 健康ステーション事業

健康ステーションの利用促進や健幸クラブの普及により、フレイル予防の3つの要素である高齢者の「運動」「栄養」「社会参加」を事業の中心に据え健康寿命の延伸を図ってきました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにすべての事業を休止・中止しました。

##### ①健康ステーション事業・・・(休止)

緑が丘サテライト事業の終了に合わせ令和3年3月末で終了しました。今後、健康ステーションで行ってきたフレイル予防は、三木市に引き継ぎます。引継ぎに当たって、フレイル予防で重要となる「栄養指導」の強化と下肢筋肉の状態の指標（SMI）の活用について意見を具申していきます。

##### ②健幸クラブ運営事業・・・(休止)

健幸クラブ事業は、令和3年3月末をもって事業を終了しました。クラブ終了にあたり会員を対象に無料測定会を実施しました。期間中、在宅保健師の会の協力により保健指導が必要な方に対して生活アドバイスをを行いました。

(参考)

期間：令和3年4月19日～23日の5日間 参加者：61人・案内195人)

##### ③第3回み・ライフフェスタ・・・(中止)

### 3 IOT を活用したしごとの創出（クラウドワーキング）

#### (1) クラウドワーキングの推進

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大で経済が沈滞し発注案件が減少するとともに、リモートワークによる在宅勤務の増加でワーカーが増加し受注額が大幅に減少していましたが、経済活動の再開にあわせ徐々に受注額が回復しました。

#### ①現在取り組んでいる仕事

##### ①しごとの種類

クラウドソーシングを使った仕事には、各種データ入力をはじめ印刷物のデザイン、原稿ライティングなど、さまざまなものがあります。

取扱中のしごと			
アイデア	記事 作成・校正	ウェブデザイン	アプリ 開発
ネーミング	データ入力	映像制作 編集	システム 開発
テープ 起こし	翻訳・通訳	チラシ ポスター デザイン	製品 デザイン
商品 モニター	経理代行	コール センター	映像 写真撮影

#### ②ワーカー数の推移

チーム登録者は年度当初 42 名以上いましたが、業務量の減少に伴い活動者は減少。新たに令和3年1月26日に男女共同参画センターと連携してワーカー説明会を実施し令和3年3月末には38名となりました。

ワーカー数	6月	R2.3末	R2.12末	R3.3末	
ワーカー数	24	42	30	38	
内訳	20歳代	2	7	4	4
	男性	1	1	1	1
	女性	1	6	3	3
	30歳代	5	17	9	8
	男性	0	1	1	0
	女性	5	16	8	8
	40歳代	5	6	7	11
	男性	1	0	0	1
	女性	4	6	7	10
	50歳代	5	5	4	7
	男性	1	1	2	0
	女性	4	4	2	7
	60歳代	5	6	5	4
	男性	1	2	1	0
	女性	4	4	4	4
	70歳代	2	1	1	4
男性	1	0	0	2	
女性	1	1	1	2	

#### ③連絡会等への参加状況

毎週1回クラウドオフィス三木で開催していたワーカー連絡会は、主体をリモート会議に変更して実施しました。

ワーカー連絡会の開催状況													
令和1年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数			1	4	6	4	5	4	4	4	5	0	37
参加者数			13	51	53	50	65	67	54	58	56	0	467
保育児童数			4	25	33	22	23	21	26	24	14	0	192
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	2	4	4	4	4	6	4	5	4	4	5	5	51
参加者数	16	31	28	36	28	45	27	45	28	35	43	30	392
保育児童数	未実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	0

#### ④ワーカー受注実績

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で寺中額が極端に減少していましたが、ようやく前年同期の受注額に回復しました。

#### 令和1年度実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
個人受注	受注件数	44	47	25	74	19	35	21	10	9	9	4	7	304	
	受注金額	5,955	41,716	64,717	204,568	102,658	169,804	149,660	72,706	73,462	55,760	44,726	78,320	1,064,052	
チーム受注	CW発注分	チェック継続案件	0	0	0	6,400	37,500	93,900	98,700	180,640	621,120	24,980	25,640	221,663	1,310,543
		調査案件									214,280				214,280
		データ入力案件	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29,262	8,480	4,290	42,032
	営業活動分	デザイン案件	0	0	0	0	86,400	0	33,000	0	0	0	287,000	0	406,400
		ライティング案件	0	0	0	0	7,500	7,500	1,500	0	1,500	0	77,000	3,000	98,000
		写真撮影ほか									3,000			2,080	5,080
		テープ起こし案件				8,640								13,440	22,080
		資料作成案件					151,200								151,200
		HP案件（作成・管理）				75,600	43,200								118,800
		小計	0	0	0	90,640	325,800	101,400	133,200	180,640	839,900	54,242	398,120	244,473	2,368,415
合計	5,955	41,716	64,717	295,208	428,458	271,204	282,860	253,346	913,362	110,002	442,846	322,793	3,432,467		

#### 令和2年度実績

クラウドオフィス三木 令和2年度作業実績															(単位=円) R03.3.5現在		
令和2年度		元年度実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計	累計	
チーム受注	CW発注分	チェック継続案件	1,310,543	990	0	0	0	0	0	0	0	1,616	0	0	0	2,606	1,313,149
		調査案件	214,280	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	86,800	0	86,800	301,080
		データ入力案件	42,032	0	17,060	17,060	0	17,060	0	12,600	0	30,920	28,940	23,660	19,700	167,000	209,032
	小計	1,566,855	990	17,060	17,060	0	17,060	0	12,600	0	32,536	28,940	110,460	19,700	256,406	1,823,261	
	営業活動分	デザイン案件	406,400	0	0	0	42,000	0	34,207	0	30,000	0	22,000	49,500	0	177,707	584,107
		ライティング案件	98,000	3,000	0	0	0	11,500	10,000	34,000	226,621	16,500	56,100	88,000	97,332	543,053	641,053
		写真撮影・イラスト制作	5,080	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000	6,080
		テープ起こし案件	22,080	0	0	12,000	0	0	0	30,315	122,660	0	0	0	0	164,975	187,055
		データ入力	151,200	0	3,000	3,000	0	69,768	99,920	31,200	208,600	38,500	244,420	38,500	38,500	775,408	926,608
		HP案件（作成・管理）	118,800	16,000	0	0	0	245,000	0	0	20,000	0	0	0	195,000	476,000	594,800
小計		801,560	20,000	3,000	15,000	42,000	326,268	144,127	95,515	607,881	55,000	322,520	176,000	330,832	2,138,143	2,939,703	
合計	2,368,415	20,990	20,060	32,060	42,000	343,328	144,127	108,115	607,881	87,536	351,460	286,460	350,532	2,394,549	4,762,964		
月平均	263,157													月平均	199,546	226,808	
														下半期	1,791,984		
														下期平均	298,664		
														上半期	602,565		
														上期平均	100,428		

## 4 リビングラボ

### (1) 新しいライフスタイルの共創（リビングラボ）

地域の大学等高等教育・研究機関や郊外型住宅団地ライフスタイル研究会と連携して超高齢社会に対応する新しいライフスタイルの共創（リビングラボ）に取り組みました。

#### ① 委託型サテライト「おおきなき」によるリビングラボ事業

令和2年度は、令和1年度の成果を踏まえ「X（エクス）チェンジ」をベースとして実施しました。

地域団体の活動の横出しで毎月1回 地域課題を解決するリビングラボを開催し、地域課題の効果的な解決の場の創出を進めました。

○場 所：地域交流施設「みんなのひろば おおきなき」

○委託先：おおきなき（子育て支援団体）

○事 業：

	日程	内容	参加者
第1回	6月9日	Xチェンジ	12名
第2回	7月14日	Xチェンジ	15名
第3回	8月11日	Xチェンジ&三木産クラフトビール試飲会	30名
第4回	9月8日	Xチェンジ&三木産クラフトビール試飲会	20名
第5回	10月13日	Xチェンジ&三木産クラフトビール試飲会&お灸体験会	20名
第6回	11月10日	Xチェンジ&三木産クラフトビール試飲会&マネー講座	20名
第7回	12月8日	Xチェンジ&三木産クラフトビール試飲会	20名
第8回	1月12日	Xチェンジ&三木産クラフトビール試飲会	20名
第9回	2月9日	Xチェンジ&三木産クラフトビール試飲会	20名
第10回	3月9日	Xチェンジ&三木産クラフトビール試飲会	20名

#### ② トライアルリビングラボ事業

平成30年度に実施した「トライアルリビングラボ」で洗い出した課題とその解決策を地域の住民や団体と共創して課題解決を進めています。

不用品を地域で必要とする人にまわす「くるくる回るショップ」は、みどりんへの来場者の減少に伴い事業が停滞しました。



## 5 関係人口の増加対策

三木市郊外型住宅団地ライフスタイル研究会の加盟企業や地域の高等教育・研究機関等と連携・協力して、少子高齢・人口減少社会に対応する新しいライフスタイルを調査・研究しています。

推進機構が実施主体となって実証事業を行い、その成果は緑が丘団地の再生に活用されていきます。あわせて、緑が丘団地をはじめ三木市の人口減少に歯止めをかけるために「関係人口」の増加対策の中でも生かされます。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で「関係人口」の増加対策のひとつとして毎年参加している「三木さんさんまつり」及び「緑が丘ハッピーハロウィン」はともに中止となりました。

### ①域学連携事業

県立三木北高校、人と自然の博物館（県立大学）と連携し「ミツカンよかわバイオトープ」で令和2年8月29日(土)に開催しました。



### ②緑が丘・青山空家・空き地調査

平成28年から緑が丘町をモデルとして進めてきた「三木市生涯活躍のまち構想」は、令和2年度で5年間の事業年度が終了します。そこで、モデル事業の効果検証のひとつとして、空家・空き地調査を行いました。

今回の調査は、前回実施した調査（平成27年1月）と比較するため前回調査を担当した大和ハウス工業㈱が実施しました。

#### <調査の概要>

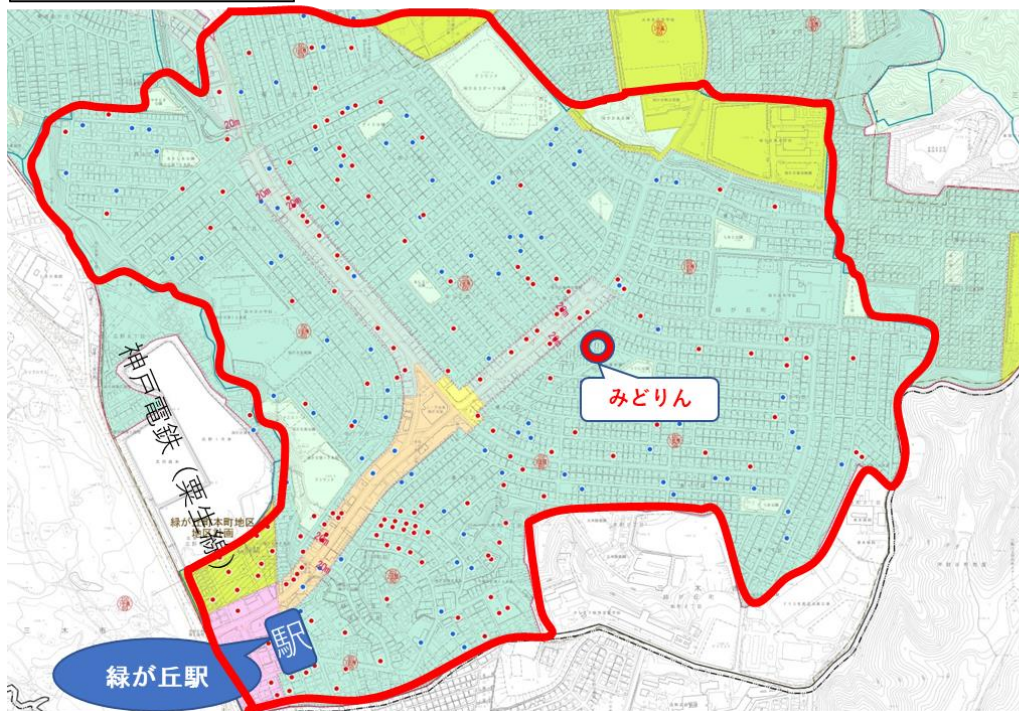
- ・名称 令和2年度 空家・空き地調査
- ・実施主体 一社) 三木市生涯活躍のまち推進機構
- ・調査時期 令和2年7月下旬～8月
- ・実施方法 現地踏査（緑が丘町）での目視調査

- ・ 調査実施者 大和ハウス工業㈱
- ・ 協力依頼 目視調査の結果、住・不在が不明の場合、調査の精度を高めるため最寄りの自治会長に状況をヒアリング
- ・ 調査結果 緑が丘・青山団地ともに、空地-空家の状況は次表のとおり大きく改善されています。

		2015調査	2020調査	差引
緑が丘町	空地	204	150	-54
	空家	109	49	-60
青山	空地	98	71	-27
	空家	21	9	-12

緑が丘町		2015調査	2020調査	差引
西	空地	49	31	-18
	空家	41	10	-31
中	空地	58	53	-5
	空家	28	15	-13
東	空地	44	25	-19
	空家	31	20	-11
本町	空地	53	41	-12
	空家	9	4	-5

※平成27年1月現在



●	空き家
●	空き地

### ③郊外型住宅団地の住環境とまちづくり調査（研究協力）

令和2年11月に大阪大学大学院工学研究科建築・都市人間工学研究室が実施したアンケート調査に協力しました。

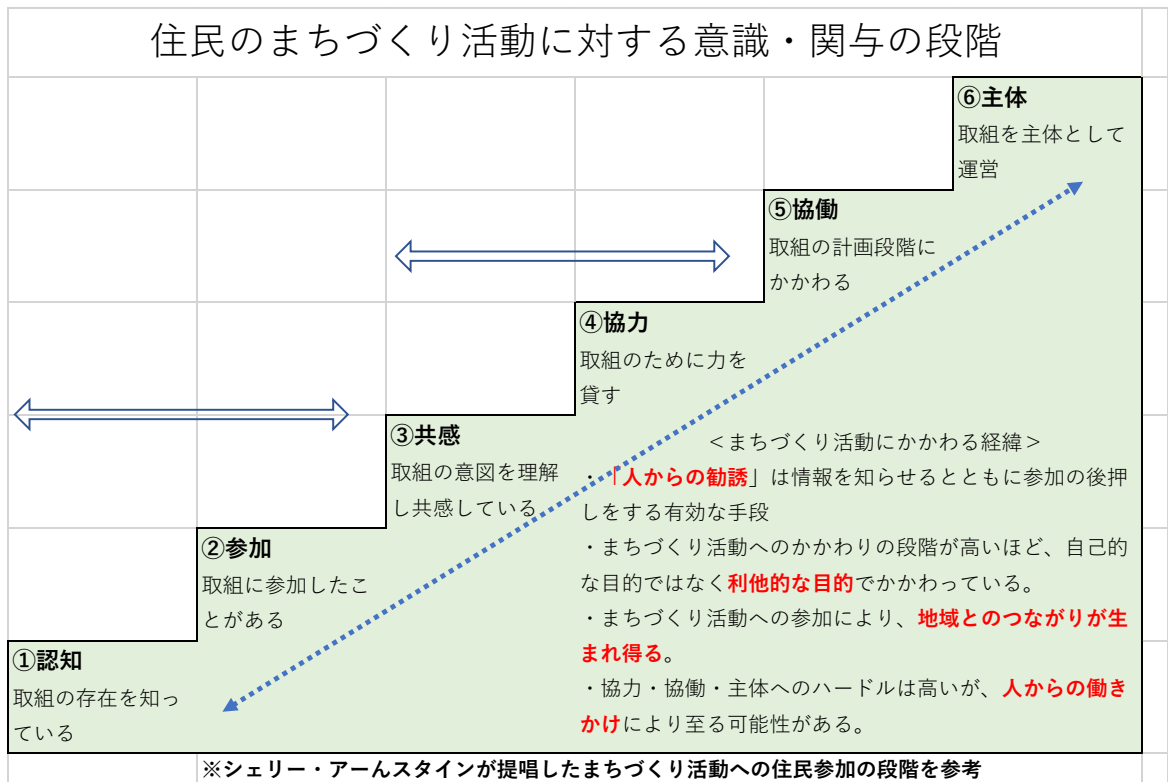
クラウドオフィス三木は、アンケートの集計業務を受託しました。

#### ○調査の概要

- ・対象 三木市緑が丘町。志染町青山地区の戸建て住宅、集合住宅の世帯主又は配偶者
- ・期間 令和2年11月24日（配布）から12月4日
- ・配布 配布 調査票を全戸にポスティング  
回収 郵送またはみどりんに持参
- ・配布数 5,991件
- ・回収率 31.4% 1880件（緑が丘：1189件、青山653件、不明38件）

#### ○アンケートの結果分析 （研究論文の結論部分抜粋）

団地の持続的な発展に向けたまちづくり活動の検討の知見となる。  
住民のまちづくり活動に対する意識・関与の段階を明らかにする。



## 結 論

まちづくり活動の浸透の程度とその影響要因及び今後の課題を明らかにする。

○まちづくり活動の住民への浸透の影響要因

- ・まちづくり活動に**取り組む期間の差**により、まちづくり活動への意識・関与が異なる。
- ・まちづくり活動の取り組みへの参加や**共感**が、協力意欲につながる。
- ・**地域に目を向け将来への思案をしていること、コミュニティの広さ**がまちづくり活動への浸透の影響要因となり得る。

まちづくり活動にかかわる経緯と意識の変化

- ・**人からの直接的な働きかけ**は、参加を促したり、協力・協働に至るための手段として有効である。

## 提 言

1 まちづくり活動の意識の共有

- ・住民の目に見える取り組みを**継続的に実施**
- ・**取り組み内容を考える段階から住民と一緒に**

2 働きかけによる担い手の発掘

- ・地域団体など**既存のコミュニティとの協働**
- ・まちづくり活動の**実施主体と住民個人との関係構築に基づく声かけ**

(研究者)

大阪大学大学院工学研究科 地球総合工学専攻  
建築工学コース建築・都市人間工学領域  
中山詩歩子・伊丹絵美子

## 6 みどりん運営事業

### (1) みどりん運営事業

みどりん（サテライト）を核とした地域住民の多世代交流の促進、コミュニティの形成支援を進めてきました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で緊急事態宣言の発令中はすべてのサークル・教室を休止しました。宣言解除後は手紙絵サークル、椅子ヨガ教室のみを実施しました。

なお、推進機構の直営サテライト「みどりん」は、令和3年3月末をもって事業を終了しました。

#### ①サークル

○手紙絵サークル（毎週火曜日午後）

#### ②各種教室・講座

○椅子ヨガ（月4回、第1・3月・金曜日、有料）

講師：コサカメグミ

令和 1年度	開所 日数	みどりん 来場者数	いきいき 体操	手紙絵 サークル	英語で あそぼ	ビューティ レッスン	各種ヨガ	ベビー マッサージ	クラウド ワーク	みどりん 寄席	健幸 食事会	サテライト 利用者
合計	243	7,049	322	272	112	117	236	34	925	62	15	4,954
令和 2年度	開所 日数	みどりん 来場者数		手紙絵 サークル			各種ヨガ		クラウド ワーク		マイナポイ ント窓口	サテライト 利用者
合計	245	2,896		221			201		3		252	2,219

※ 新型コロナウイルス感染症防対策のため各種イベント、サークル、会議など多くの事業を中止。

### (2) マイナポイント支援窓口の開設

サテライト（みどりん）へ立ち寄る目的づくりのために、三木市から7月～9月までの3か月間「マイナポイント支援窓口業務」を受託しました。

期間中、マイナンバーカードの交付申請支援とマイナポイントの予約申し込み支援に地域のみなさんが250人来場しました。

### (3) コールセンター事業

三木市から吉川地域においてのデマンド型交通の事業開始にあたり、コールセンター業務の依頼があり旅行サービス手配業務取扱管理者の資格を取得しました。結果として本業務は受託できませんでしたが、これを契機に関係人口の拡大やお試し居住の募集など移住・定住の促進ツアーの実施に必要な「地域限定旅行業務取扱管理者」などの資格の取得に取り組みます。

#### (4) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するには、「密閉」「密集」「密接」いわゆる「3密状態」をできるだけ少なくしていく必要があります。

みどりんの保湿とウイルスの不活化を図るために空気清浄機を設置、来場者の体調チェック、定期的な換気・消毒を日常的に行いました。

#### (5) ポストコロナ社会におけるサテライト事業の基本的な方向性の検討

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けて新しい生活スタイルの検討が求められています。サテライトは、高齢者から子どもまで幅の広い世代が集まります。ポストコロナ対策の観点からサテライトの機能・利用の形態などを基本的に見直していく必要があると考えます。

##### ① 「拠点・集中型」から「地域・分散型」へ

拠点を集中してサービスを行うことから地域に分散したサービス提供

- ・地域の縁側（居場所）事業
- ・民間サテライト設置支援事業

##### ② 「接触型」から「非接触型」へ

インターネットを活用した各種情報提供・サービスの利用申し込み

- ・くるくる回るショップのネット化  
くるくる回るショップをオンライン化して、地域への浸透を図り利用促進につなげます。
- ・自治会・まち協のHPづくり  
青山まちづくり協議会のホームページを立ち上げ、推進機構のホームページとのリンクを図り機構事業の広報につなげます。
- ・事業参加の申し込みのネット化  
各種事業やサービスの申し込みなどを、推進機構のホームページからできるようにします。さらに、モザイク型就労の雇用管理にも活用していきたいと考えます。

##### ③ 「自由参加・ごちゃまぜ実施型」から「健康・定員管理型へ」

- ・サテライト事業を多世代横断でごちゃまぜ実施するにあたり、施設内での感染症拡大防止は最優先するために、利用者の登録制をはじめ入退室時の健康チェック、密にならないために利用時間の把握及び調整、緊急時の連絡体制を整えておく必要があります。だれもが、安全に安心して使える体制づくりが今後のサテライト運営において肝要となります。